

取扱説明書



突っ張り耐震ポール

注文コード：11109546, 41503727, 41503736, 41503745, 11109555, 41503754

このたびは、突っ張り耐震ポールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 本製品の取り付けは、記載している手順、方法通りに行ってください。誤った手順、方法で行うと、ケガや破損のおそれがあります。
- ぐらついた家具の上や傾いたところに設置しないでください。倒れたり、落下してケガをすることがあります。
- 各部のネジ、接合部がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。また定期的に点検してください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用しないでください。破損や本体が倒れてケガをするおそれがあります。

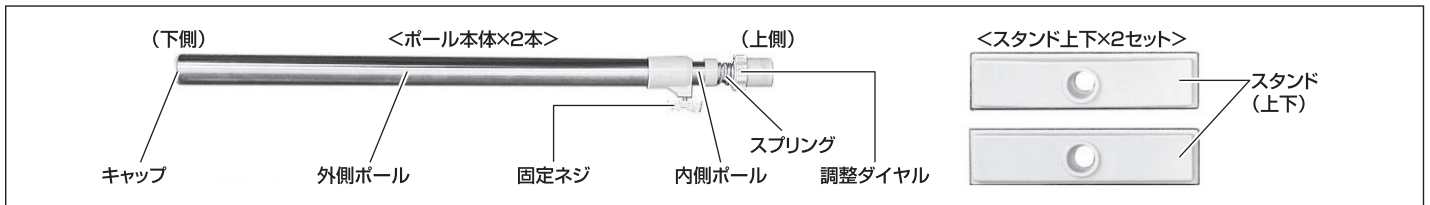
注意

- 本製品を乱暴な取り扱い方をすると、ケガや故障、破損につながるおそれがありますので絶対にしないでください。
- 本製品は屋内でご使用ください。また、火気や熱源の近くでの使用は避けてください。本体が変形するおそれがあります。
- 本製品は家具を完全に固定するものではなく、あくまで簡易転倒防止器具です。設置状態や震度などにより効果が薄れる場合があります。
- 取り付けた2、3日後、および地震後や定期的（月に1回程度）に設置状態を点検し、弱いときは調整を行ってください。
- 本製品はプラスチック製のため、大きい地震後や長期使用で劣化の際は、新品と交換することをおすすめします。
- 清掃するときは、湿らせた布で拭いてください。汚れが取れにくい場合は中性洗剤で拭いてから、湿らせた布で拭き取ってください。

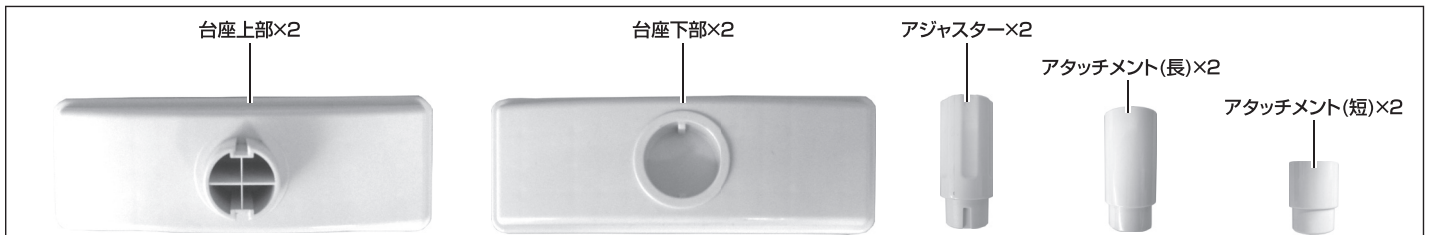
2 各部の名称

※ 取り付けの前に部品が全て揃ってあることを必ずご確認ください。

<サイズ:3S以外>



<サイズ:3S>



仕様

注文コード	サイズ	寸法:幅W×奥行D×高さH (mm)	本体重量(g)	使用範囲 (mm)	最大耐圧強度 (kg)	材質			
11109546	3S	190×65～×129～230	約600	2本	129～230	200 (2本使用時)	ポール	3S以外	複合パイプ (外 SUS443+裏 溶融亜鉛めっき鋼板)
41503727	SS	245×58～×200～300	約700		200～300			3S	
41503736	S	245×58～×300～450	約800		300～450				
41503745	M	245×58～×450～650	約1100		450～650		端部と調整部	樹脂ABS	
11109555	ML	245×58～×500～800	約1200		510～800				
41503754	L	245×58～×650～1100	約1500		650～1100	スタンダクッション材	樹脂EVA		

※ 商品改良の為、仕様・外観等を予告なく変更することがあります。この変更によって生じる損害については、当社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

3 取り付け方法

取り付ける前に、取り付ける壁面がしっかりしているか確認してください。

<サイズ：3S 以外>

■ 組立手順

1 スタンド(上下)をポール本体に取り付ける

- スタンド(上下)はポール本体の上側、下側どちらでも取り付けることができます。

2 調整ダイヤル(上側)を縮める

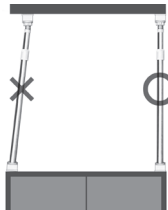
- 最初から調整ダイヤルが伸びている場合は、ダイヤルを反時計回りにしめてスプリングと同じ長さになるまで縮めてください。

■ 取り付ける前に

- 完全なつり天井の場合は、効果が発揮できない場合があります。
- 強度が弱い天井、家具に取り付ける場合は、30cm程度の当て板を挟んで設置することをおすすめします。
- キャスター付の家具に使用されるときは必ずキャスターを固定してください。
- 幅の狭い家具で使用するときも、必ず左右に2本取り付けてください。
- 天井、家具、床など設置する場所により解圧強度は異なります。

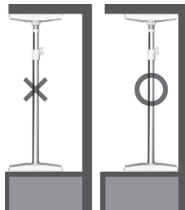
▼ 取付位置

(正面)



● 必ず垂直に取り付けてください。

(側面)



● 必ず壁側に設置してください。

■ 取り付け方法

1 取り付け位置を決める

- 天井の棧や芯材の部分に取り付け、弱い天井の場合は、当て板などで補強してください。
- 家具に取り付ける位置は、縁、四隅、天板などの強度がある部分に取り付けてください。

2 天井に当たるまで高さを調整する

- 本製品を取付位置に置いた状態で、上部スタンドが天井に当たる位置まで内側ポールを引き伸ばしてください。

3 内側ポールを天井いっぱい押し付け固定する

- 天井に押し付けながら固定ネジを時計回りにしめます。
- 固定ネジはいっぱいまでしめてください。内側ポールに穴が空き、固定されます。

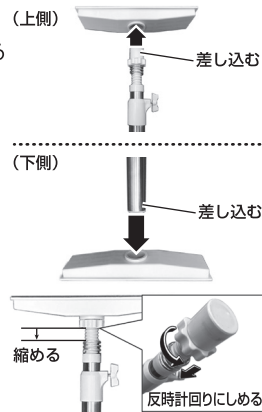
4 調整ダイヤルを回し確実に固定する

- 上部スタンドを押さえながら、調整ダイヤルをスプリングが縮む方向にしめます。
- 調整ダイヤルが「組立手順 2」の状態であることを確認してください。
- ダイヤル下のスプリングがいっぱいまで縮み、動かなくなるまで回します。

⚠ 注意

- 取り付けたら左右にゆすり、外れたりずれたりしないか確認してください。動く場合は、「取り付け方法 手順2」からやり直し、調整ダイヤルと固定ネジをゆるめてください。
- 再度固定するときは、必ず内側パイプを回して固定位置を変えてください。同じ位置で固定すると、内側ボールの固定穴が拡大してガタツキの原因になったり、確実に固定できなくなったりする場合があります。

5 正しく、確実に固定されたことを確認する



<サイズ：3S>

■ 取り付け寸法目安

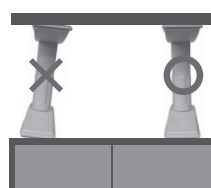
129~164mm	164~199mm	199~230mm
 台座上部 アジャスター 台座下部	 アタッチメント(短) アジャスター	 アタッチメント(長) アジャスター

■ 取り付ける前に

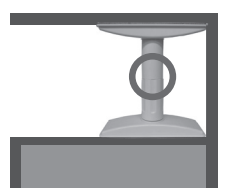
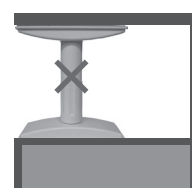
- 完全なつり天井の場合は、効果が発揮できない場合があります。
- 強度が弱い天井、家具に取り付ける場合は、30cm程度の当て板を挟んで設置することをおすすめします。
- キャスター付の家具に使用されるときは必ずキャスターを固定してください。
- 幅の狭い家具で使用するときも、必ず左右に2本取り付けてください。
- 天井、家具、床など設置する場所により解圧強度は異なります。

▼ 取付位置

(正面)



(側面)



■ 取り付け方法

1 上記の「■ 取り付け寸法目安」を確認して、アタッチメントの要否、要の場合はアタッチメントの「長」「短」を選択してください。

2 取り付け位置を決める

- 天井の棧や芯材の部分に取り付け、弱い天井の場合は、当て板などで補強してください。
- 家具に取り付ける位置は、縁、四隅、天板などの強度がある部分に取り付けてください。

3 天井に当たるまで高さを調整する

- アジャスターの下部が台座下部に当たるまで、アジャスターを緩む方向に回してください。(図A部)
- 本製品を取付位置に置いた状態で、上部台座が天井に当たる位置までアジャスターを突っ張る方向に回してください。

⚠ 注意

- アジャスターのネジ部にある凹部が見える状態まで回さないでください。凹部が見える状態では、安全に取り付けができていませんのでアタッチメントの選択、取り付け状態を確認してください。
- 取り付けたら左右にゆすり、外れたりずれたりしないか確認してください。動く場合は、「取り付け方法 手順3」からやり直してください。

